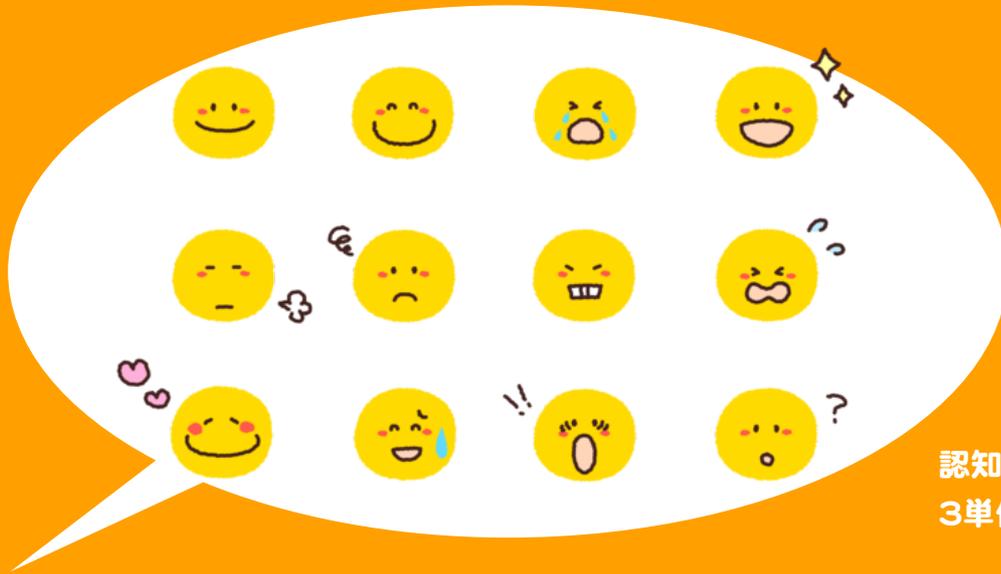


認知症を支える人のホンネ

介護家族のかっとう と 専門職のジレンマ



認知症ケア専門士
3単位取得講座

9月21日 (土曜) 13:30~16:45 (13時開場)

群馬県社会福祉総合センター 8階ホール

参加費：一般 500円 (当日会場にてお支払いください)

：家族の会会員 無料

申し込み：Peatixサイト または 裏面FAX にてお申し込みください

<https://nintisyokazoku-gunma2024.peatix.com>



1

認知症介護体験の語り

介護の中で感じたさまざまな感情、思い出に残る出会い等、長きにわたる介護体験を語っていただきます。

(3名の介護家族が登壇予定)

2

ドクターによる講演

「診察・往診による
認知症医療の実際」

前橋協立病院
瀧口道生先生

3

ディスカッション

テーマ

「支える人の心が折れて
しまわないように」

介護家族・専門職それぞれの立場から、率直な意見交換を行います。

後援：厚生労働省 群馬県 日本認知症ケア学会

群馬県社会福祉士会 群馬県介護福祉士会 群馬県介護支援専門員協会

群馬県ホームヘルパー協議会 群馬県看護協会

協賛： 群馬県地域密着型サービス連絡協議会

*群馬県社会福祉協議会社会福祉振興基金対象事業

Time Table

- 13:30 開会 代表挨拶
- 13:35~ 県挨拶・認知症に関する県政報告
- 14:00~ 介護体験の語り
- 14:45~ 講演
「診察・往診による認知症医療の実際」
休憩
- 15:30~ ディスカッション
「支える人の心が折れてしまわないように」
- 16:45 閉会

2024アルツハイマーデー標語

「共に生き ともに歩もう 認知症」

認知症介護の現場では、ご本人の世界に合わせてつづ、上手に生活を送るために、家族、専門職、と顔の見える範囲での協力が不可欠です。それぞれに支え合いながら介護環境を整えることが理想ですが、なかなかホッとは語れず、すれ違いの結果、心がぽっきりと言う場面もあると感じます。介護に関わる皆さんが体験する葛藤やジレンマから見えてくる認知症介護の現実があると思います。また、介護によって得られた代え難い出会いや、学びの側面を知ること、新しい気づきが得られると考えます。今年度は、標語にある「共に」というキーワードを意識し、より良い関係の構築を考えるシンポジウムになることを願っています。

認知症の人と家族の会群馬県支部

代表 田部井康夫

「認知症の人と家族の会」の主な活動

●介護家族のつどい

- ・県央 毎月第4日曜日
- ・太田 偶数月第3土曜日
- ・館林 奇数月第3土曜日
- ・伊勢崎 奇数月第2土曜日
- ・渋川 毎月第2日曜日

*変更の可能性があります。
参加希望時にはお問い合わせ下さい。

●電話相談（群馬県委託事業/月～金）

027-289-2740

●会報「わたぼうし」の発行（毎月）

●介護家族支援講座

●認知症サポーター養成講座

●世界アルツハイマーデー等、啓発活動

「家族の会」は、認知症の人・介護家族に限らず、一般の方、専門職の方、どなたでも入会できます。

シンポジウム申込用紙 (FAX専用) 027-289-2741

	参加者氏名	ケア専門士 単位修得希望	参加者氏名	ケア専門士 単位修得希望
(代表者を先頭に記入してください)		あり・なし		あり・なし
		あり・なし		あり・なし
		あり・なし		あり・なし
連絡先 (代表者)	〒			
	電話	メール		